

令和7年度 第2回 自転車セミナー



講師

小俣 雄風太 氏

＜講師プロフィール＞

小俣雄風太（おまたゆふた）

自転車ジャーナリスト、編集者。国内外の自転車にまつわるイベントを取材。自転車を「その土地の文化を知り、体感するツール」に位置づけ、欧洲ロードレース実況から小径車のサイクリングまで広範な発信に務めている。著書に「旅するツール・ド・フランス」(太田出版)。J SPORTSではレース実況も務める。サイクリングポッドキヤスト＆編集室のARENBERGを主宰。

自転車レースはどう書かれてきたか ～ロードレースを巡るナラティブを考える～

20世紀初頭に欧州で本格化した自転車ロードレース。

ツール・ド・フランスやジロ・デ・イタリアなど今日も残るその多くが、新聞社の販促イベントとして創始された。すなわち、文字として書かれ、報道されることを前提としたスポーツイベントであった。1世紀以上にわたるロードレースの歴史の中で、いかにレースが記述されてきたか、どのようなナラティブがあったのかを実例から読み解くとともに、メディアの意味が変貌した21世紀においていかなる書き言葉の表現が可能なのかを考える。

開催日：2026.2.19.Thu

講演時間：18:30～20:00（開場 18:00）

親 會：20:10~21:00

※セミナーご参加前にHPの注意事項をご確認ください。 <https://www.bpaj.or.jp>

参加費(税込):

会場参加 ￥2,000

オンライン ¥1,500

全場參加+觀親會 ￥3,000

ACCESS
JR山手線、東京メトロ南北線、都営三田線、東急目黒線
「目黒駅」より徒歩3分

お申込みはコチラ

